

ふくしのお便り



社会福祉法人
丹波市社会福祉協議会
市島支所 85-0517
地域支えあい通信

2022.8月号

7/1 前山地区「いつせ支え合いの会」協議開始！ (前称:前山地区自治振興会と地域住民の意見交換会)

前山地区「いつせ支え合いの会」では、この度構成委員を新しくし、地域にとって親しみやすくしようということで、名前も新たにされました。

第1回目の会議では、地区内75歳以上の方を対象に、困りごと把握のためのアンケートを8月頃にかけて実施されます。

アンケートをとることで、今までの事業を利用しやすい形にしたり、新しい事業につながります。

ここがポイント



- ・出席しやすい日を聞いて、昼間の開催に変更
- ・話しやすくするため、地区で運営している喫茶(オアシスいつせ)で開催



コーヒーの香りがする会場は、リラックスして話ができる工夫の一つです。

【支えあいの会議とは】

少子高齢化による人口減少が進み、特に高齢者に充分な支援が行き届かなくなることが予測されています。そのため、地域に住む自分達で、今から話しあい、助けあいの仕組みづくりを行う会議をいいえます。平成28年から市内で取り組みが始まり、市島地域では5地区にあります。会議の名称もそれぞれ違います。

フードドライブへご協力ありがとうございました。

令和3年度からコロナによる影響でお困りの方などへ、市民から寄付された食品などをお渡ししています。令和4年8月実施分には、過去最多となる81世帯176名からの受取申請がありました。(うち、市島地域の受取申請数は5世帯9名)



平日の事務所開所中は、常時フードドライブを募集しています。
(月～金 8:30～17:15 ※土日祝日除く)

- ・賞味期限2か月以上の常温保存ができる食品のみ
- ・野菜や日用品などは対象外です。



個人のほか団体、事業所などからも寄付いただきました。

夏休み・小中学生 サマーボランティア体験 (7/25~8/5)

今年は3年ぶりとなるサマーボランティアを実施しました。新しいことへの挑戦や、将来の夢に近づきたいと、4名の生徒がデイサービス施設の活動に参加しました。

サマーボランティア…夏休みを利用して、生徒などがボランティア活動や学習を行う事業のこと

前山小の生徒3名が参加した活動では、ゲームの進行を、友達同士で協力して行っていました。利用者に得点が入るよう、サポートつきの優しい進行は、大好評でした。



可愛い手が教えてくれると大盛り上がりのゲーム

市島中学生が参加した活動では、声かけをしながらお茶を入れる手伝いも体験しました。「おいしいわあ」と声をかけられる方や、手を合わせて喜ばれる方もおられました。



「所属するクラブ活動の試合よりもドキドキする」と話してくれました。



今年の夏も、暑中見舞いハガキを作成し、対象者の方へ発送しました。



ハガキのお礼の声も届いています！

おひとり暮らし高齢者へ 暑中見舞ハガキ

民生委員の方を通じて報告をいただいた、75歳以上のおひとり暮らし高齢者の方が対象で、市島地域では197名へ発送しました。

ハガキ作成には、小中学生の生徒の方にご協力いただき、暑さを気遣うコメントや、カラフルなイラストが描かれていました。